

バストス週報

第八一四号
昭和四十年十一月十二日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES. VARGAS 128
C. POST. 112
FONE. 40
BASTOS
C. P.
ANUAL
DA 1966
\$ 3.500

頂針 46

募金三羽鳥

バス総合会館建設委員会というものが出来て、その中に資金委員部がある。何れが、実質的に最高幹部である。何れが、最初の会合では、三万コントというので、無理をすれば出来ぬこともあるまいが、十二万コントとは一寸、ケタが大きすぎる。心中疑惧を抱く人も多々あったようである。表面ではだまっていたも、陰へまわると、逆もそんな金があつまるもんかと去って居る声もないではなかつた。八万は募集できる見込をつけ、不足分をバラスト外の親戚へ渡りつけ、腰をさめた。計画は樹てても着手せぬ限りは絵に画いた紙と一般である。

資金委員の中に恐ろしく剛胆な傑物が三人居て、よし、それでは、絵に描いたものをほんどに食べるモノにして見せる、と立ち上がったのである。その内の一人B氏は、一夜寐すに熟慮した。途中である。とんでもないことを引受けた。途中である。事業の進行に傷をつけることになる。こりや添川も、のたへ補正成のミナト川の戦い。生きては帰れぬ決心をした。このことだ。いよいよ決心がつくと先任格のA氏に決心を打ちあけると、太腹のA氏は事もなかに元気で、行こうと野球選手のような張り切りかたであつた。今からおよそ七、十日はかり前、A、B、C氏は徐ろに作戦を練り、戦陣訓を起草した。曰く、この作戦は最少三ヶ月を要す、或は六ヶ月を要する長期となるべし。手当、わらじがけたるべし。作戦期間休養を許さず。相手にムリ強いをせず。事情を説明して充分納得して、願ひてもらうこと。人に出させる以上先ず自ら報復帖に卒業して金額を記入すること。目標を遂定して百発百中狙いあてること。この三勇士にも弱点があつた。車がつかえないのである。車はもつていては操縦ができない。ぬとは今更嘆いても追付かぬ話。そこで攻委員会々長、副会長と交互に動員して攻

ALFAIATE IMPERIAL



完全に夏の胃腸を守る **わかもと**

夏のお肌を一層美しくする
わか クリーム 五種
わか アクア テコロニア
各薬局 にあります



わかもと製薬株式会社
わか美容化学研究所
聖市C.P. 3656

Sapataria Bastos



男性は ドタグツでも
婦人は そうはいきません
女性の美しさは
先ず脚から、脚はクツから
早川靴店へ
FONE 55

撃開始と相成ったわけである。車は貸す
 かウピロツトは、そちらでと逃げたい処
 いやしくも正副委員長の勲章の手前そ
 もいえず、三羽鳥は時に四羽となり五羽
 となり、雄弁にかけてはいずれもバスト
 ス一流、組われぬ人はひとたまりもない
 などのかんの往生際の悪い人もなかつ
 たわけではないか。金額をかき署名し
 ると忽ちエビス額となつて募金の労苦を
 ねぎらうという。

その内連合青年団及び文化青年連盟の
 二団体から、吾々は金で協力はできない
 が車でアシジューズをしようという甲出で
 あつた。会館はいずれ僕たちが頂くん
 だからという露骨な考えでなく、大人たち
 の苦勞を實地に見ておこうという、けなげ
 な考え方で、車をもつてくる青年が交代
 に三人を意のままに運んでくれるのであ
 る。中学校の先生をして、ミノルルササ
 キ君、これはほんの一例だが、時には毎
 日の如く正午ごろから夕刻六時頃まで、
 送り迎えから訪問先まで、心から三人を
 いたわつて乗せ歩いて三老を感激させて
 いる。こうなると、もはや大人だけの仕事
 ではなくて、青年層も一しよになつて働
 いていることとなり、会館建設の意義も
 倍加して行くように思われる。

募金の大きさはさつと以上のよう
 からすを主体として予定の二ヶ月はパツ
 サした成績の方はどうであろうか。六
 十三日目という日に恐る恐る伺いを立て
 ると五千コントを筆頭に三千コント二千
 五百コント二千一千五百、一千コント級六
 十三人で七万六千コントと言つた。とた
 んにクラクラと眩いがして来た。よく頑
 張つたものである。どの人もよく来た、
 帳面出せ、すぐ書いてやる、とは云われ
 ぬ相だ、鬼子に相談せねばならぬ人、奥
 とん意見を開かねばならぬ人、これはさ
 もありなんといいたい処、百や二百なら
 とにか千、二千という寄付バストス開關
 以来のことだから、一寸決心がとまどい
 するのがあるが、よく考えてみると、そ
 れほど手痛い金額ではなさ相だ、ワシも
 知らぬいううちに、身分になつたの
 と自ら省みて豪気になる。中には、三羽鳥
 の意表を突いて、あんな方の云うだけ書
 こうという人もある相で、さういふ時は鼻
 がしうがツインとして涙がこぼれさうに
 なるということだ。

ニニの主人は手ごわいぞと覚悟して、コ
 ンニチワと這入つて見ると、いそがしい
 から早く帳面出してくれという速力の早
 いのにぶつかつて、この日のさ、い先を神
 様に感謝して次々と千コント以上が四つも
 でき、一日で六千コント募金した時は疲
 れも吹きとんでしまつた相である。疲
 れれといえは三老とも相当な年配であ

る。三日や四日の御用達なら、それ程でも
 なかろうが、六十日以上募金運動をする
 と身心ともに激勞である。今日も、これで
 逸事終つたと夕方家に逃りつく、気が
 弛んで一べんに疲を覚え、ジヤンターがす
 むとすぐにでも横になりたい衝動にか
 られる。三老の内C氏だけが若く、若いとい
 つても六十ぐらい、家には自分の仕事か山
 積して居るのに、義勇公に奉ずる心やみか
 たく、帰宅後もA老B老のように早寝も
 できず、朝は自分で弁当作りをするこ
 ともあるさうだ。

そして此の仕事は予定のコースを予定
 の速力で進んで来た五百コント級には手
 がついて居ない。七万コントの線まで未
 三老は、ようやく調子が出たといつて居る
 から、おそろくあとは憶力で十二万コント
 まで泳ぎつくのではなからうか。

何々四天王、何々三勇士などという言葉
 がある、三氏の功を擣うりにカラスあつ
 かいにしては全く相済まぬ次第であるが
 「募金三羽鳥」などは口調がいいので一
 寸ヒントをあわせてまで。

若い資金委員四五人集つて先夜晩餐を
 献じてその勞をねぎらつたが、三老の左
 倒的な元氣と覇氣に完全にシヤッホを脱い
 だ相である。

Foto Shimamoto

Salão Shimamoto



ビネスガール
 G・B型 それぞれの
 嬢さん 型 お車合は
 若夫人 型 似合う
 中年夫人型 新らしい髪型

調髪と美容は
 サロン島本で
 電話 63

お見合寫真大成功
 たちまち結婚にゴールイン
 結婚寫真はホームラン
 たちまち売り切れ再版出版
 フォトシマモト
 イデランチデ用のお寫真はバスター
 警察御指定の當館で

Qualidade
Comprovada
até de baixo d'água



CITIZEN

expoente da relojaria do Japão modelo New Master
Representante exclusivo YENDO S.A. Shock Proof Water Proof

Rua Galvão Bueno, 212 2º and.
c. postal. 2878 FONE 33-3573 34-0627
São Paulo

時計をお求めの際は 日本製で世界一と高評の

シチズン と御指名下さい

シヨッキに強く 水圧に強く 狂わぬ時計

自動巻き カレンダー付 値段手頃

Relojaria Akata
Shubuta
em Santos

日本観光記 第十八輯 A

真木諭吉

東京

東京駅に降りる太田区の姪の家を訪ね
此所を根拠として東京市内と近郊の観光
をすることに定め 翌四月十八日は原宿
の生長の家本部に行き講師試験、青年大
会飛田給練成等の申請をして木原静彦講
師の講演を拝聴して帰った。十九日は織
田氏に依頼された原紙とやすりを買いに
神田に行き、それから埼玉県の蕨市に住
んで居る孫の家を訪問する事にして駅に
行き、在場に行ったら午前十時過ぎ
まで人出の少ない頃であるのにやはり構内
は人でいっぱいだった。やつと切符を買って大
宮行の汽車に乗った。普通列車なので秋
葉原御徒町上野湯谷日暮里田端と各駅に
停車するのであるが、どの駅も乗降客が一
はいだ。線路両側は何処までも町がっさ
いて居て東京の町はどこで終るのが見当
がつかない。やがて上中里辺までくると
遠方に田圃が見えはじめた。次の王子は
又大きな町で製茶会社の煙突とビルが林
立して居る。汽車は赤羽河口を過ぎ碓
に着いた。この町は日本で一番新しい一
番小さい市で人口三万、東京からの巨高
は随分遠く一時間以上を要するが、孫の

婿は、私の姪の主人が経営する電通会
社の事業部長で戦后創立以来十数年勤続で
その夜は一泊することにして夕食を御馳
走になり一杯傾けたので孫等夫婦は戦時
中戦後の物資難や欠乏に耐えて奮闘し
無一物から此所までにした事を自慢気に
え娘をあけて居たので私も渡伯以来三十
年間の奮闘談をまくし立てた。彼等は
娘の家に戻った。翌朝ゆっくりして昼食後
ましようしと誘うので、姪に連れられて
歌舞伎座へ行った。此の劇場は戦火で消
失、昭和二十五年に再建されたもので折
式は以前の歌舞伎座の典雅な桃山時代の
豪華絢爛たる味わいを其終とり入れたの
で日本古典芸術たる歌舞伎を上演するに
ふさわしい大殿堂である。
芝題は頼家阿闍梨と浮舟と紅葉参りの
権八の三題で、配役は助弥 助三郎、好
太郎、宗十郎、山本富士子、翠扇などが
主なる役者で、下っけは何十人居るか知ら
ない。
場内は想像以上に広く後方の座席だと
望遠鏡が必要である。装飾も美しく引
ある幕も立派なものである。幕があくと
美しい舞台の奥に何と三味線引噺方二十
四人ホウリと居座を、舞台の床は実物そ
っくりで借頼家の勘弁は本物の借と寸分

の変わりもなく良く似合っており、又その去
たるや素晴らしいもので、呪いの香を焚い
て懐死する場面は憤怒の凝相物凄く本
当に懐死を遂げた林な思いがした。実に
素晴らしき演技で観客を感服せしめる
又お富士さんの浮舟は板に付いたもので
非の打ち処がなく唯素晴らしいの一言に
尽さる。彼女日映画女優として飛び切
りのスターであるが、又達者なもので
其の妙技は見て居る惚れ惚れとする
や、はり映画より実演の方が数倍見ごた
えがある。又好太郎も勘三郎も宗十郎も
翠扇も優れた芸を持って居り、今夜の芝
居は初めから終りまで飽きる事なく夢中
で観賞したので時間のたつのが早くても
う終ったのかと惜しかった。だが今晚も
よい命の洗濯をすることができた。あり
がたや、有難や

廿一日(四月)は雨がしよほしよほ降って
いるので退屈しのきに手紙を四五通書い
た。昼か雨がやんだので有楽町のシネ
マ・マ・アトル東京へ行きシネマを見
た。画題は南海の冒険で、総天然色の美しい画
面であった。内容は、ある独逸の青年が北
米に渡航した。不良の仕事も見付からず、
ぶらぶらして居るうち、ふとした事から
南洋航路の帆船の水夫として乗船。布
哇から南洋の島々を廻り、ニージーランド
濠洲と冒険旅行をするのであるが、其間
その地の風俗習慣人情など、並びに産業
産物其の他動植物に到る迄、綿密に描写
して居り、仲々豪華な画面であった。特
に素暗らしかったのは各地の土人の踊り
や猛獣狩りであった。シネマははじめ
て見るせいであつたかも知れぬが、や
はり普通の映画と比べて、よいなあと思
激した。

翌二十日は水戸の借楽園へ行くつも
り、上野駅から平行的の急行に乗る。こ
だ。北千住松戸馬橋柏と過ぎ、利根川の
手前の我孫子(カッコ)と云う奇妙なる前の
駅に着いた。此の駅では大きな荷物を背
負った行商のおはさん達が多勢乗りこ
んで来た。おはさん達は荷物ベンチの上
に降りると自分たちは傍に領つたり、立
ち人坊をして居る。利根の大鉄橋を渡り
土浦にくと、南方に美しい湖水が見える。
多分霞が浦の北端であろう。此の辺の
地形は平坦地に細長い丘が無数に散在し
て居り、一風変わった地形である。傾斜は緩
慢なので開墾すれば結構畑地になりそう
だが一向開拓されて居ない。汽車は石風
反部、赤塚と過ぎて水戸駅についた。昼
食をしてから公園に行き、八幡神宮に参
拜してから公園に入った。公園は小高い
丘上にあり、南の半分は神社佛閣の境内
になつて居り、北部が借楽園である。東南
部は数百年の梅林で二月の梅花の季節は

洗濯店開業
サンパウロ一流の店で五年間み
ちり腕を磨いてまいりました。
新店ですから、どうか、かわいが
てやって下さい。
速くて、丁寧、お値段も勉強します
チンツラリア・バストス
古屋昌次
重道商店の下となりです

日本語のよみかき
知っておくと便利
知らないといふ
ソロン

日本語が開校して、もうすぐ一年になろ
うとしています。上級生はパイ、マ
マイの生れ故郷の地理や歴史をもうす
ぐ勉強しようとして居る処です。
根元よく勉強して行けば、日本語によ
つて、いろいろな知識が身につけられ
ます。
公認日本語で日本語を学びましょう。
――夜は七時より中央会館――
――朝と昼は病院の裏――

見事であろうと思われ、今は唯豆粒ほ
どの梅の実があるのみで、何の風情もない
北の方には桜の大木と竹藪に覆われ、ウ
ッソウとしたマツトで、ブラジルで生活
した自分には何の興味も湧かない。公園
の西にある千波湖は周囲に桜の並木があ
り、今満開で青澄んだ湖面に影を映して
好い景観であつた。又園内の好文亭は風
流である。
次に弘道館公園に行く。孔子廟や八卦
堂には桜が開満でよい眺めであつた。
借楽園は、さすが日本三公園程あると
言うようないは起るなかつた。
この稿次号へ続く

野田清松 山川則光 氏 御存知の如き也
御 礼
一全を封也
母堂様御葬式の際香典返しの意味で御
奇贈いただきました
謹んで御礼申し上げます
バストス 佛教婦人会
佐々木久輔様

祝

ブラ製糸株式会社

創立二十五周年 20-9-1940

一九六五年十月

ボンフィン区養蚕家一同

北海道馳け歩る記

小沢 勇

ゼット機は今、九月十九日午後五時半九千八百米の上空を一千料の速度で北海道千歳飛行場に向う。機外の温度は下四十七度とアラウンサーが告げた。一時五分で千歳に着陸。機は百三十人乗り満員で然も一時間毎に出発して居り、自分は一時間出発の予定の所切符が入手でさなかつた。いかにお客の多いかわかる。一時間五十分のオニスにゆられ札幌のスマイレホテルの五階に宿をとる。翌三十日朝タクシを駆つて道庁へ行つたが訪ねる人は東京との車に車を返し富士銀行支店で五百ドルを円に換え、車を北海道神社動物園にとはす。植物の温室やアイヌ館には見るべきもの多くその細工物の精巧さは実に感心の外なく鳥獣の白骨毛皮等よくこれだけ集めたものだと思われた。動物園はキリン、象、河馬、虎、獅子、ラクダ、駝鳥等大きな熱帯動物を初め各種鳥獣の居るものは無い程集められ行楽の人多く、小雨の中を行き交う様は広い林間と芝生の中の人びりとした秀麗な風景を醸成し北海道なら下の感か深い。道路を河に添つて快走し右折して藻岩山に登行する。鶴一男氏に教えられて居た為めである。ああ何と云う美しい林である。青い葉の幹、白色の枝、半は落葉した点々と紅葉の真紅を交えて美しき云うはかりなし。車は頂上展望台へ百米程の所に止まる。急坂の石段を登るに小雨を交えた強風は吹きとばされる恐れあり。観光客多数も各々助け合つて登る。ここまでの口し、アウイは間断なくグイフルカーで人を運んで居る。足下から立ち登った虹は頭の高さを最高とし半円を描いて美観を劃える。ロープウェイは三百六十米の眼下遙かに人口七十八万の大都札幌市を俯瞰し、又遙かに札幌大手野の金色の稲田も雲煙の間に消えのこる。左手には山岳連なり人跡まれで熊の棲息地の事である。雨がひどくなつたので休憩所に入り、ソバを食う。北海道の蕎麦はうまいねと話合つた。午後三時半発特急アバシリ行に乗る。旭川に着いたのは五時半頃。直ちにタクシを飛ばして鶴春子さんを訪ねたが不在。美人の娘さんに鶴氏の近況を手短かに話し、非常に立派にやつて居られると春子さんに伝えて下さいと云い残して又車上の人となり。ニユー北海道ホテルに泊る。旭川は其の昔軍都として出来ただけあ

会葬御礼

ツパン在任、土橋志磨雄(33才)こと十月二十七日バストスにて西爪の積荷をなし、サンパウロへ向う道中、午前六時リオフラード、サンカルロスの中間に於てカミニオン故障による事故のため死亡いたしました。遺体は同日連れ帰り、ツパン墓地に埋葬いたしました。

右の次第につき生前御親交をいただきましましたことを感謝し皆様に御礼申し上げます。

返つて葬儀にあたりましては遠路わざわざ御会葬下され、その上多大なる御香奠などを頂き、誠にありがとうございました。ごさいました。

一々御言葉に参上いたしかねますので失礼ではございますか、紙上にて御礼御挨拶申し上げます。

一九六五年十一月三日

ツパン市

土橋遺族一同

バストス

叔父 矢 萩 清 雄

知友各位様

り、道中広く暮盤目に整然としている。前野興三吉氏を訪い、其の太郎宅に驚きつつコーヒ一院かう買つたコーヒ一袋を贈る。ガスストーブに火を点いて迎えられる。前野氏は本年七十八才、十二年間人口二十五万の旭川市長として活躍。欧米諸国を御夫妻で圧訪。その見聞記を一卷にまとめ上梓され、自分にも一部署与された。氏は材木商であるが、三十年前、事業の思わしくない時があつた。その頃生長の家を御教えを知り、自分の考えていた世の中に神も佛もあるものかという思いあがった精神を一変し、自分

死亡通知並に会葬御礼

母佐々木マン儀老齡のため静養中の処去る十一月一日午後六時五分眠るが如く八十三才の天寿を全うして永眠致しました。依って翌二日午後四時半バストス南米本願寺に於て告別式を営みバストス墓地に埋葬致しました。此儀生前の御厚誼を感謝し謹んで御知らせ申し上げます。追って葬儀にあたりましては御多用中遠路態々御会葬賜わり其の上過分なる御香料花輪など御寄興下され御芳志の程誠にありがたく厚く御礼申し上げます。一々拝趨御挨拶に参上致すべき処取込中誠に失礼ではございますが紙上を以て取敢ず御礼申上げます。

一九六五年十一月三日

喪主 長男 佐々木忠左衛門
次男 佐々木 久三 輔
三男 佐々木 久三 郎
六男 佐々木 幸六 子

親戚 妻 幸ハウル子

親戚 佐々木家孫一 同

西川 統平
西川 金作
梶山 茂平

橋本 家一
吉浦 家一

石橋 家長
織田 守男

友人

各位

J. B.-MATERIAL PARA CONSTRUÇÃO

Rua Presidente Vargas 413 FONE. 173 Bastos

建築材料一式

バストス市 プ・ヴァルガス街四一三 電話一七三
 ジョアキム アドルフォ ホルジエ

セメント 石灰 鉄管 トルネーラ W.C 器具 一切
 ラドリリーヨ 等 一式 用意して居ります

告代

このたび 上記の所 (元西川薬局) で 建築材料店
 を開業いたしました故 ご入用用品 何なりと御用
 命賜わりますよう 御願ひ致します。

J ジョアキム
 B ホルジエ

は神の子であるとの信念を養われた。す
 るとその後はすることなすこと意外に順
 調に進み本業の材木屋がとんとくと当
 て今日の富をなすに到った。
 氏は自ら講師ではないが講演はされる。
 旭川には二名の講師があり、今日も白鳩
 誌友の役員会が、前の事務所で開かれ
 居る。何と云って、自今は身体も丈夫に
 なり事業も順調に進んだのは、一重に生長
 の家の御蔭であるから、その傳道に尽
 して居るの、たゞとて御令筆と共に役員会
 を欠席して接待をして下さった。その上
 役員全部が挨拶に来られたのは、大いに
 恐縮し、ブラジルの状況を乞われるまま
 に話した。尚昼食の御馳走になり大きな
 菓子箱を贈られた。
 前野氏を辞し市内見物をしたかったが
 小雨が降っているので取りやめバスで石
 狩平野にお出。石狩平野は明治二十六
 年以未屯田兵によって開墾されたものと
 スカールが告げた。
 日本第二の長流石狩川は悠久の姿麗わ
 り、平野は烈然として機械農がでさる
 奇勝層雲峡に着いたのは午後二時。
 ニ層雲ホテルに行つたところ、今觀光
 バスが出て全行程入料の峡谷を往復する
 との事に早速バスにとびのろ
 以下次号

カピナルゾーン 28 糸音

事実とちがう

一理事 前号に手術台という一文が出て
 いたね、あの材料は、ここから出たもの
 が知らぬが、少し真相をあやまってい
 るようだ。
 ほつておくと世間の誤解を招くおそれ
 があるから訂正してもらいたい。
 編集長 ちがって居るとすれば、なあさ
 ねばならぬが、発表しては悪いことな
 らさかぬことにしよう、会の中で意見
 が対立する事もあろうし、議論するこ
 ともあるうが、まとまる前提であれば
 問題ないと思つていたんだ。
 なにね、平穩無事ばかりで面白くない
 ので一杯きこし召して居る時の持説だ
 ったんだ。ついあわててどつどつとい
 った。真相を逸して居るといわれては
 こっちの負けだ。つづれんでお詫び申
 上ける。これでいいかね。
 一理事 詮証文とりたい処だが、すなお
 に認めたら、それでいいだろう。い
 ちか決まったらおしらせする。

お地蔵さんの偉力
 次のページ

お地蔵さんが建立されてから、さつぱりとされいにデザストレが無くなくなってしま
い、ちよいと淋しい位だ、なとといつた
ら罰があたるだろうが、そのくらい効力
というか御利益がある、と、地蔵組合の方
の人達は内心鼻が高いといふもの。いや
去年クリストホンをお祭りしたからだと
加教信者の人達は、ひそかに祈りをつつけ
ていうつしやる。どつちが効いたのか、
多分両方の圧力だろう、不思議と本年は
不詳事が起らぬので、よい案梅と思つてい
たら、去る十一月三日にバストス関係の
車が二件デザストレを起している。一件
は聖市近くサンカルロス付近でバストス
の亀甲さんの甥の土橋君(バストス出身)カミ
ニオンに西向を満載して走つていたが運
転を他の人と代つて休憩してトロトロ唇
つて居ると突然車の前輪が動かなくなり
勢い余つてカミニオンは、もんどり打つて横
転し、唇眠つていた土橋君は胸部を強打し
て殆んど即死、運転して居た人はかすり
傷くらいで助かつた。一寸先はヤミの言
葉を地で行つたわけ。
同じ日バストス三敷梅男さんの外人運
転手は聖市よりの帰途バウル付近で口
市某日本人の操縦するウックスワゲンに
ぶつつけられた由、ウックスワゲンは大破し
日乗人その子二人、ソグロ氏と計四名は即死
ぶつつけられたカミニオンの方は、運転
手は突然目の前に車がぶつつかつて来たの
で一瞬呆然となり、ギアを放して身を伏せ
たため激突のあほりと自分の車の速力で
教目横転し大破したが、負傷の程度で一
命は助かつているが、三敷さんの損蓋は
ひどいものといふ話、何事故か起きた
か、死んだ人には気の毒だが、道路修理
の箇所が見えたので慌ててよけるつもり
で左へ切つてしまつたので三敷さんのカ
ミオンの前にぶつつかつてしまひ正面衝突となつ
た模様。
石で作つた地蔵様に文句を云つてもは
しまらぬが、こつしたデハストレを神仏
の力でくいとめようと考ふる処にムリが
ある。ギアをあやまれはデハストレは必
至である、いくつ自分注意して正確な
ギアをして、も相手からぶつつかつて来られ
は、まかりちがえはあの世行きである。
ナム地蔵尊とても力は及ばない

夏 雑

火酒くのは音立てて飛ぶ夜の蝶

壺出土石斧も出土 夏木立

乗せくれし娘はかりの納涼車

糸音

御 礼

謹言、去る十一月一、二日墓
地出張の節は皆様から御懇
志を頂きましたので、寺に明
細書御芳名披露させて頂き
ます、取敢ず茲に御礼申上げ、
十一月五日
合掌

皆々様
バストス南米本願寺
バストス仏教婦人会

御 礼

金一封
御母堂マン様御他界なさいました節香
奠返しの御志にて御寄付を頂き誠に有
難う存じます、右御礼まで
バストス南米本願寺
佐々木久輔様

御 礼

金五コントス也
過日会館を使用されました際、志と
して御寄付下さいました、ありがたく
御礼申上げます
生長の家バストス誌友会
宇佐美食堂様

上等のレンカ

Vende-se "Tijoros"
ホーデミッコ製 一千枚
バーロ製 十七コントス也
病院の近く(元のガソリンポスト)
クローヴィスアンドラーテ
十二時以後にお願い下さい

迷いユーピン

受取人 山川、リミツ (長崎市古町下、武田)
野田セイマツ (愛知県瀬尾、渡辺)
右御人当り方は右にお願い下さい 通報社

父の戦記より

今は捕虜の身

ホルネオ 高荒 敏一

(40)

日本兵の捕虜十五、六人を乗せた豪州軍のトラックは元造船所跡に仮設された日本軍捕虜収容所を出ると、クチン市街をぬけ、飛行場に通ずるセマイルの道を走った。かつてわれわれがイギリス兵捕虜を引率して歩いた道である。三人の現地人の女が車に向って手を振った。車がその三人の前を通過しようとした時、一人の女が青いサロンをさつとまくり上げると、われわれの方に白けて裸の尻をつき出し、それを片手でシヤヒシヤ叩きながら日本語で叫んだ。

「兵隊さん、ほしなさいか」

女たちが跳び上って笑いこけている姿が赤い花をつたふ花の垣の陰に消えた。われわれも大口をあけて乾いた笑いの声をあかした。声をあげて笑うことなどはすっかり忘れていたが、今日は教会の作業を割当てられた時から心の浮き立つ思いだった。クチン市のはずれにあるこの教会には、年老いた一人のドイツ人牧師がいた。私もこの牧師とは終戦前に二度顔をあわせている。日本兵の捕虜が教会に作業に行くとき、牧師が食糧を恵むというウワサがあった。確実だと保証するものもいて、われわれの期待を一層大きくしたのである。

終戦後ホルネオのクチン市にあった日本軍はクチン市より十数里奥地にあるテゴラに武器や食糧を運ば、ここに集結した。抗戦するといふ噂さもあり、九月末には武装解除されて捕虜収容所に入った。吾々から笑いを奪った。そして飢餓は人間らしい感情や欲情を整理した。日本兵の大部分は去勢された動物のように食べ物への妄執だけが残った。ただ動物のそれと異るところは、帰国のあてもない故国への郷愁が時折折り冷たいすさまじい風のように空虚な心をつきさして焦燥や不安をあざうめめいりまじった感情にさいなまれることであつた。

吾々は教会の入口で車から降りると、豪州兵に監視された十人ばかりが教会の夕比オカの畑に入った。残りの六人が教会の周囲をとりまくバナナ畑の下草を刈るために大きな口シヤ鎌が渡された。吾々はできるだけ体力の消耗をさけるために豪州兵の監視の目を注意しなからず、動いた。バナナの葉陰に入つて汗の流出を防いだ。水筒に半分の水は今日一日の飲料水であると同時に昼食でもあつた。かつて畑作業や草刈作業には時計草や

Fablica de Gramito
concerta-se Tumulos

日本式及びブラジル式
墓碑 記念碑
胸像 石燈籠
石白 石材彫刻一切

既成墓石の修理もいたします

アマンチーナ市A.V.リオブランコ

大西石碑工場

御報参上
電話 五二五
郵函 二二三

大西文吉

北海道知事より礼状並に領収書

昭和三十九年北海道冷害に対し義援金を送りました処、知事より左の如き礼状が届きましたので道人方に御知らせ申上ります。

謹啓 時下益々ご清栄のこと、存じます。さてこのたびは本道一帯の冷害により甚大な被害を受けた農家に対し深い御同情を寄せられお心のこもるお見舞金品の惠贈を賜りましたことは、洵に感謝に堪えませぬ。お蔭を以つて全国各地から多数の励ましをお寄せいただき、失意の底にありました冷害農家も明日への希望と奮闘意欲を新たにしている次第でございます。道といたしましては総力を挙げてこれが対策を講じ、困窮する冷害農家の生活を安定を図るとともに再生産に支障をきたさぬよう援護に万全を期して、いるところであり、ご芳志につきましましては貴志にそつて関係機関を通じて適切に配分いたしたく存じます。先ずは取りあえず書中をもって御禮申し上げます。

昭和四十年七月二十八日 敬具

北海道知事 町村 金五
バストス北海道人会 会長 信太兵治殿

領収書
金五万円也 但、昭和四九年冷害被害農家に対する義援金
上記のとおり領収しました
昭和四十年六月廿日
北海道民生部社会課長 松崎 了介 (印)
バストス北海道人会 会長 信太兵治殿

CASAS PERNAMBUCANAS



カーサズ

ペルナンブカーナス 支店

バストス

年末ナタールののお買物は、今から「ご」計劃になりました。もう早目に今月からご利用下さいませよう。よい品物が一〇%から三〇%の割引でお手になります。安く品を手に入れる絶好の機会です。どうぞ御利用の程を。

十二月の割引を「ナタール」まで

コンチヌーアすることになりました。

や電気イモ(われわれのつけた名、このイモを食うとちよと電気にかけられたように口中がしびれるからである)を捕んだ。又ナンダン虫を争って獲れた。山に入れば蛇を奪い合った。勇敢な者がいて、試食し命に別状ないこと、が知れると争って採れた。作業が終って宿舎に帰る時、こかにかくして持ち帰る。夜になる、蚊帳の中のをちこちで特別料理が始まる。かかつて背負袋の中で荷厄介になつていた携帯燃料がここで真価を発揮した。編上皿の手入れをしないままに残っていた。保革油は唯一の栄養源となった。鉄蓋の蓋に保革油をとかし、デンデン虫をいためる。シャッバスヌオルを現地人と交換して入手した塩を振りかける。電灯のない宿舎の蚊帳の中の片隅にむくんだ顔や頬骨のどがった顔が輪を作つて、携帯燃料の青白い光に浮出しているのが毎晩のよう。に宿舎のどこかに見られた。臭いと塩のバチバチはねる音をきき下う空腹を抱えて、余したまれないように郷愁の感情をも、余しながら、暗い天井とにうんで眠りのおとずれをまった。保革油も交換のための材料も底をついていた。ただ朝又二度中盒一杯の水のような粥と水筒半分の水が一日の食糧のすべてであつた。

「オ、イ、タビオカでも出ないかな、自動車小隊の山内上等兵が誰に去らなく口に出したか、大人とも皆いちよにそんな期待を持って、山内上等兵は未だに体力の衰えを見せない。頑丈な、らだつきの持主である。大部分の兵隊が栄養失調による全身のむくみが過ぎて、意激に肉の落ちていく中で、その生きる逞しきは目立っていた。私はいつも羨望を以つてこの古参兵を見た。」「ヘーイ、カマアン。われわれは、かん高い豪州兵の声を聞いた。教会の非常階段の上に皆夫の回抜け、高い豪州兵が自動小銃を構えている。は、あのいかつい顔の背の低い牧師が立っていた。その牧師の手に何か持たれて、いることを認め、た時、吾々は噂さか、かなものであり、それが吾々に興えられ、る食物であることを信じてしまつた。ためである。(次号へつづく)」

社より各位へおねがい。本年度の購置料を勝手から年内にお支払い下さる様ねがいます。新年の年賀広告ご希望の方は御申込み下さい。これまでものように当方から考りません。マキナが二われかかっているからです。(身体)

Aviso de Cine - Bastos

十一月十二日(金) 八時 十三日(土) 九時半 *Nasce uma Estrela*
 松竹 *スター誕生* 江利チエミ 吉田輝雄 有島一郎 リーブル
 天然色 清川虹子 藤山寛美 田端義雄

十一月十四日(日) 九時半 十五日(月) 八時 *Guardos Amambadores*
 東映 *御金蔵破り* 大川橋蔵 朝比奈雪路 待田京介 リーブル
 天然色 丹波哲郎 北条菊子 片岡千恵蔵

十一月十六日(火) 十七日(水) 両夜とも夜八時 但し十六日夜は八時と十時二回上映
 日活 *仲間* 浜田光雄 杉原みち子 我ら青春高鳴る胸に、うすくは愛の
 天然色 舟木一夫 純子歌、スクラム組んで幸福の道を取らん

十一月十九日(金) 二十日(土) *MACONERO*
 二本立 皇太子さま御夫妻メキシコ御訪問 天然色 二本立
 リーブル

松竹 *海抜〇米* 倍賞千恵子 川津祐介 山岸スミ子 中村正子 リーブル
 天然色 園井恵子 加藤正 武田雪江 柳家金語楼

十一月廿一日(日) 廿二日(月) *NO CREPUSCULO DOS BANDOLEIROS*
 東映 *日本俠客伝* 高倉健 松川弘樹 大木実 三田佳子
 天然色 中村錦之助 津川雅彦 長門裕二 南田洋子

予告 東京オリンピック日本語版十二月五、六、七、八日の四日夜昼夜二回宛
 ○肉鶏 療鶏 高価買入 御報参上 信太兄弟 商会

COCCIZOL



ニューカッスル病にそなえて

鶏舎専用の強力消毒剤

コクシジウムを退治する唯一の消毒剤
 コクシジールの100倍殺は
 ニューカッスルのウイルスを
 三分以内で完全に殺してしまいます

伝染にそなえて、すぐ消毒しましょう
 シレでも被害を受けないように
 尚 赤信号の出ている期間中
 是非 三週間に一度の割合で
 充分隅々まで消毒して下さい
 ついで鶏舎内のワクモも死んで
 しまいます

○現品は各組合においてあります



Industria Quimica OKADA LTDA
 Alameda do Uapês 539
 Indianopolis São Paulo